

かながわの交通

2024
1月号

交通安全年間スローガン受賞作品(内閣総理大臣賞)
一般部門A:運転者(同乗者を含む)に呼びかけるもの

今日もまた あなたの無事故 待つ家族



謹
賀
新
年

東京箱根間往復大学駅伝競走 (写真提供:平塚市 若松 和夫さま)



道路横断には気をつけて!

高齢歩行者の事故が増えています。

油断大敵!

運転者も歩行者もルールを守って
交通事故防止に努めましょう!

歩行者
事故
多発!

◎県内の交通事故発生概況(令和5年12月末現在) ◎県人口・運転免許人口

年別	区分	発生件数	死者数	傷者数
令和5年		21,869	115	25,611
令和4年		21,098	113	24,382
増減数		+771	+2	+1,229
増減率		+3.7%	+1.8%	+5.0%

	総数	男	女
県人口	9,227,041	4,573,009	4,654,032
免許人口	5,672,734	3,211,771	2,460,963
割合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.8人に1人



ホームページ

(県人口は令和5年12月1日、免許人口は令和5年11月末現在)

年 頭 ご 挨拶



公益財団法人 神奈川県交通安全協会 会長 石坂 浩二

新年明けましておめでとうございます。

皆様方には、御家族共々希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、交通安全協会の諸活動につきまして、深い御理解と多大な御支援、御協力を賜っておりますことに厚く御礼を申し上げます。

さて、去年の本県における交通事故については、発生件数、負傷された方はいずれも前年に比べて増加いたしました。亡くなられた方は115人と、第11次神奈川県交通安全計画における「年間の24時間死者数を130人以下にする」という目標を2年連続で達成いたしました。

しかしながら、依然として歩行者の方が犠牲になられた事故、二輪車が関係する事故が多く発生しております。悲惨な交通事故を防止するためには、一人ひとりが基本的な交通ルールやマナーを守っていただくことはもちろんですが、県、県警察、関係機関・団体等の皆様方が一体となり交通安全活動を推進することが重要であると再認識しているところであります。

神奈川県交通安全協会といたしましては、本年も各地区交通安全協会とも緊密に連携し

- 子どもから高齢者まで、歩行者を交通事故から守る各種活動の推進
- 二輪車の交通事故防止に資する各種活動の推進
- 自転車の交通事故防止とヘルメットの着用推進
- 飲酒運転等の危険な運転を根絶する活動の推進

を重点として、各種交通安全活動を積極的に取り組んでまいりますので、より一層の御支援と御協力をお願い申し上げます。

結びに、皆様方にとりまして、明るく健やかな年となりますよう心から祈念申し上げまして、年頭の御挨拶とさせていただきます。



神奈川県警察 本部長 直江 利克

謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

神奈川県交通安全協会の皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年中は、「第51回交通安全こども自転車神奈川県大会」や、新たな取組である「かながわバイクリカレントスクール」など、交通安全活動や情報発信活動をはじめ、警察行政各般にわたり深い御支援と御協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、去年の交通事故情勢を顧みますと、人身交通事故の死者数は令和5年に比べほぼ同数でしたが、発生件数、負傷者数は増加いたしました。

交通死亡事故の特徴として、死者数の約4割が高齢者で、そのうち、道路横断中に交通事故によって亡くられるケース、とりわけ、歩行者側に違反を伴うものが多く見受けられました。

また、二輪車乗車中の事故も多く発生し、特に、二輪車単独による事故が多く発生したところであります。

このような情勢を鑑み、県警察の本年の取組といたしましては、悲惨な交通事故を1件でも減少させるため、引き続き、AIの活用等による分析結果を踏まえた各種交通街頭活動や、幅広い年齢層を対象とした交通安全教育のほか、高齢歩行者に対する反射材の重要性や効果の周知を図るとともに、各種キャンペーンを強化するなど、交通事故の根絶に向けた活動を強力に推進してまいります。

つきましては、本年も、貴協会と連携を図り、各季の交通安全運動等における各種交通安全活動を効果的、かつ、強力に推進してまいりたいと思いますので、引き続き、御協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

結びに、本年も貴協会のますますの御発展と会員の皆様の御健勝、御多幸を心から祈念申し上げ、年頭の御挨拶とさせていただきます。

交通栄誉章「緑十字金章・銀章」及び 交通安全優良団体等表彰

金章7名、銀章27名、5団体が受賞し、受賞者(団体)は次のとおりです(敬称略)。

交通栄誉章「緑十字金章」受賞者

《交通安全功労者》



置田光男
(南)



飯田昌興
(横須賀)



二宮健司
(旭)



丸山恭一郎
(鎌倉)



大久保三雄
(横須賀南)



山上英治
(宮前)



高田辰二
(大船)

交通栄誉章「緑十字銀章」受賞者

《交通安全功労者》

程島正雄(加賀町)、中山 徹(保土ヶ谷)、杉田 進(宮前)、井田光一(多摩)、森 隆雄(横須賀)
山口幸雄(藤沢市)、田中裕子(藤沢北)、田邊義和(平塚市)、二見嘉彦(小田原)
大貫和美(厚木警察署管内)、平井 昇(海老名市)、平場智壽子(海老名市)
石田健二(相模原)、霧生 隆(相模原北)

《優良運転者》

富樫征男(磯子)、飯田泰行(港南)、佐藤憲行(泉)、名古屋徳藏(宮前)、横山幸治(横須賀)
石田和代(横須賀)、山崎 充(逗子)、長谷川康男(藤沢北)、伊草利房(藤沢北)、阿部美代子(小田原)
石井榮二(伊勢原)、和田幹男(相模原)、畑野一二(津久井)

交通安全優良団体(1団体)

かながわ信用金庫(横須賀)

交通安全優良学校(2団体)

学校法人トキワ松学園横浜美術大学(青葉) 神奈川県立海老名高等学校(海老名市)

優良交通安全協会(2団体)

栄交通安全協会 相模原南交通安全協会

新春のお慶びを
申し上げます



公益財団法人
神奈川県交通安全協会
会長 石坂浩二



一般財団法人
横浜市交通安全協会
会長 板橋 悟



一般社団法人
川崎市交通安全協会
会長 関 進



三浦半島地区
交通安全協会連合会
会長 岡 昌憲



湘南地区
交通安全協会連合会
会長 飯塚武彦



相模地区
交通安全協会連合会
会長 古郡保正



公益財団法人
神奈川県交通安全協会
専務理事 小島伸治



「交通安全優良学校」の紹介

◎ 学校法人トキワ松学園 横浜美術大学

〔沿革等〕

1916年に学校法人トキワ松学園創設。1966年にトキワ松学園女子短期大学造形美術科に開学。2010年に横浜美術大学に開学現在に至る。

みる＝観察力・つくる＝造形力・考える＝発想力を養う
新しい基礎実現

〔教育目標〕

- 1 美術・デザインの専門的な表現技術の習得
- 2 美術・デザインの理論的な知識の習得
- 3 社会性と幅広い教養の習得

〔功績の概要等〕

平成25年から青葉警察署正面玄関前に交通安全事故防止活動を目的とした干支看板作品を同美術大学の学生が作成し現在に至る。

同校は、地域に根差した交通安全事故防止活動に積極的に取り組んできました。



◎ 神奈川県立海老名高等学校

〔沿革等〕

神奈川県立海老名高等学校は、昭和54年開校の全日制普通科の学校です。

現在、1学年10学級、全校生徒数およそ1,200人の県内公立高校の中でも最大規模の学校のひとつです。

「知・徳・体の調和のとれた人格」と「主体的に学び続ける力」の育成を教育目標に掲げ、学業や学校行事に力を入れるとともに、数々の部活動が全国大会への出場を果たしています。

〔功績の概要等〕

本校は、駅からの利便性が比較的良いということもあり、大多数の生徒が電車通学をしている一方で、4人に1人の生徒が通学に自転車を利用しています。

多年にわたり生徒の交通安全意識の高揚と交通ルール遵守の習慣化を図るとともに、コロナ禍以前には、自治体の街頭キャンペーンなどのボランティア活動に取り組むなど、ささやかながら地域への貢献を果たしてきました。



令和5年度「年末の交通事故防止運動」の実施結果

令和5年12月11日(月)～12月20日(水)の10日間

運動期間中の県内における交通事故発生件数は650件で、昨年よりも62件減少した一方で、亡くなられた方は3人と昨年よりも1人増えた結果となりました。

◇ 期間中の県下の交通事故発生概況

区 分	発生件数(件)	死者数(人)	負傷者数(人)
期間中累計	650	3	729
前年同期比	-62	+1	-96

期間中の交通死亡事故の概要

- 12月11日(月) 横浜市戸塚区深谷町(一般市道)準中型貨物自動車が左折時に自転車(死亡者、73歳、女性)と衝突
- 12月13日(水) 横浜市中区新港(一般市道)右折した普通乗用車が直進の普通自動二輪車(死亡者、23歳、男性)と衝突
- 12月19日(火) 横浜市中区本牧三之谷(国道357号線)大型貨物自動車が進路変更後、原付(死亡者、58歳、男性)と衝突

令和5年度交通安全こども自転車神奈川県大会出場校に対する激励



横浜市立小田小学校



横浜市立鶴ヶ峯小学校



厚木市立清水小学校



川崎市立旭町小学校



伊勢原市立竹園小学校



神奈川県交通安全協会、地区交通安全協会では、小島専務理事、青山事務局長、地区会長等が、令和5年度交通安全こども自転車神奈川県大会に出場した各小学校に赴き、全学年の児童、教職員等に反射材を贈呈して交通安全を呼びかけました。

令和6年度の「第52回交通安全こども自転車神奈川県大会」の実施日時等が決定しました。

日 時：令和6年6月22日(土)

場 所：寒川総合体育館(神奈川県高座郡寒川町宮山275番地)

令和6年使用 交通安全年間スローガン決定

～ 応募総数は 35,059点 ～

全日本交通安全協会と毎日新聞社が主催し、内閣府、警察庁等の後援により募集している交通安全年間スローガン（令和6年使用）が以下の通り決定しました。

☆ 一般部門A：運転者（同乗者を含む）に呼びかけるもの

（敬称略）

- ◎ 内閣総理大臣賞
今日もまた あなたの無事故 待つ家族 埼玉県 金剛 明夫
- 内閣府特命担当大臣賞
抜け道と 思うな そこは通学路 新潟県 関 千奈
- 警察庁長官賞
挙げる手を やさしく見守る 横断歩道 静岡県 吉國 久嗣
- 全日本交通安全協会会長賞（佳作）
飲みません 今日は私が ハンドルキーパー 大分県 岡部 由希
ぎりぎりの 時間と車間が 事故を呼ぶ 大阪府 栗田 俊夫

☆ 一般部門B：歩行者・自転車利用者に呼びかけるもの

- ◎ 内閣総理大臣賞
身につけよう 交通ルールと ヘルメット 愛知県 栗山 凌平
- 内閣府特命担当大臣賞
車だけ？ 交通ルールは 皆のもの 千葉県 川島 菜緒
- 警察庁長官賞
さあ青だ 踏み出す前に 再確認 埼玉県 坂井 康治
- 全日本交通安全協会会長賞（佳作）
反射材 光って気づいて 事故防止 静岡県 竹内 彩乃
自転車も 歩行者優先 安全走行 滋賀県 玉井美智子

☆ こども部門C：こどもたちに交通安全を呼びかけるもの

- ◎ 内閣総理大臣賞
わたるまえ わすれずかくにん みぎひだり 茨城県坂東市立石井第一小学校2年 飯田 奏斗
- 内閣府特命担当大臣賞
しんこうき あおでもかくにん わすれない 埼玉県新座市立新堀小学校1年 五十嵐 華
- 文部科学大臣賞
見つけてね ピカピカぼくの はんしゃざい 茨城県結城市立上山川小学校3年 岩岡 颯佑
- 警察庁長官賞
ちょっと待て 車のかげから もう1台 愛知県稲沢市立稲沢北小学校4年 松下 京平
- 全日本交通安全協会会長賞（佳作）
交差点 自分を守ろう 周り見て 富山県立ふるさと支援学校中学部3年 脇田絢由沙
じゅんびした？ じてん車のるとき ヘルメット 富山市立鶴坂小学校2年 高堂 雅

この人

213



戸塚交通安全協会
会長

かわべ しげお
川邊 重男さん



戸塚交通安全協会は、昭和23年4月に自動車組合として発足し、昭和33年5月戸塚警察署内に事務所設立(11支部)。昭和47年4月瀬谷安協、昭和54年5月に戸塚南(現栄)安協設立、昭和61年3分区され、平成4年4月に泉安協が分区されて現在に至っております。

戸塚は現在27万都市で区の面積は市内18区の中で一番の広さであり、人口も自動車等も増加しつつあります。

また交通事故も高齢者、二輪車等の関係する事故は多発傾向にあります。

さて、今日は平成29年9月から会長に就任されている川邊重男さんを紹介します。

会長は、生まれ(川邊家20代目)も育ちも戸塚区原宿で都内の大学を卒業し、横浜市内の会社勤務後現在は、不動産管理会社「(有)なかいい」を

経営しております。父親が当協会の副会長をしていたことから平成10年に入会し、副会長兼交通指導部長を歴任され、平成29年9月から会長に就任し現在に至っております。

会長は、交通事故は人災であり、防ぐことができる「鉄は熱いうちに打て」との強い信念をもって活動している。特に子どもは国の宝であり、幼稚園、小学校等のはまっ子交通安全教室や高齢者等の交通安全教室に積極的に取り組んでいきたいと話しております。諸先輩方が築いてきた足跡を継承し協会員(18支部145名)一丸となり関係団体と連携し、区民の死亡事故0を目指していきたいと話しております。今後は健康に留意し区民の安全安心な生活を守るため頑張ってくださいと思います。

取材協力：戸塚交通安全協会 事務局

こんにちは「宮前交通安全協会」です

新年明けましておめでとうございます。

本年もよろしくお願いいたします。

今回は「宮前」の名前の由来と宮前区の交通事情などについてお伝えしていきます。

宮前区は、昭和57年7月に高津区から独立しています。新区名は、一般公募で多数を占めた「宮前」としました。

宮前という地名は、昭和13年まで宮前区南部に所在した宮前村に由来しています。もともと宮前村の読み方は「みやさきむら」でした。

宮前地域は、農業主体の集落が多い地域でしたが、東急グループによる開発が進められ、田園都市線の駅を中心に急速に宅地化されて世帯数と人口が増加していきました。

人口増等から、当協会は、昭和61年4月に高津交通安全協会から独立しています。

宮前区の道路事情は、人口増加により交通量が増加、もともと国道246号と尻手黒川線、東名川崎インターがあることから、昼夜を問わず多くの車両が区内を通過しています。

当協会では、適時幹線道路の交通監視を



実施しています。また、祭り等地域の行事に参加して交通安全の呼びかけを行っております。

当協会では、区役所、警察署、安全運転管理者会、交通安全母の会と協働して、当協会長が水戸黄門に扮した「宮前関所」と題する独自の交通安全キャンペーンを行い、通行人に広く注意喚起を行っております。

これからも当協会は、行政及び関係諸団体と協力し、交通事故を一件でも減らせるよう一丸となって活動してまいります。

最後に皆さまのご多幸とご健勝をお祈りして年頭の挨拶とさせていただきます。

(望月 記)

地区交通安全協会の活動紹介



大和市 中央林間駅前における
違法駐車追放キャンペーン



戸部 横浜駅新都市ひろばにおける
秋の全国交通安全運動西区キャンペーン



相模原北 アリオ橋本店前における
防犯・交通合同キャンペーン



藤沢北 湘南台駅前における
違法駐車追放キャンペーン



金沢 海の公園金沢まつりにおける
交通安全キャンペーン



横浜水上 大横橋入口交差点における
違法駐車追放キャンペーン



海老名市 えびな市民まつり 2023 における
交通事故防止キャンペーン



山手 警察署前における
年末の飲酒運転根絶運動キャンペーン

交通安全活動

賛助会員の紹介

このコーナーでは(公財)神奈川県交通安全協会の交通安全活動に賛同し、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています(敬称略)。

- 株式会社オカムラ横浜支店 ————— 横浜市西区
- 株式会社サカイ引越センター(関東法人部) ————— 大阪府堺市
- 神奈川県遊技場協同組合 ————— 横浜市神奈川区

賛助会員入会のお願い

公益財団法人神奈川県交通安全協会では、交通事故のない安全で安心な交通社会を実現するため様々な交通安全事業を行っております。交通事故防止活動に賛同していただける「賛助会員」としての入会をお願いいたします。

インフォメーション

- 表彰審査委員会 ————— 2月16日(金) 県協会会館
- 企画・安全委員会 ————— 2月22日(木) 県協会会館